学校番号	３０１３

令和３年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術１　（日本文教出版）						
副教材等	高校生の美術１　授業資料　（日本文教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・絵画、彫刻の分野では基礎を学びながら、感じ取ったイメージを膨らませて、発想力、構想力を見つけいきましょう。
・デザインの分野では目的と機能を考え、基礎を学びながら表現力を高めていきましょう。
・鑑賞の分野では作品の特徴や表現方法を発見し、作品ができる背景や意図を考えながら自分なりの感じ方、見方を深めていきましょう。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート グループ活動の様子 鑑賞ノート	ワークシート アイディアスケッチ 制作中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準
			a	b	c	d	
前期	美術とは	(絵画・彫刻)(鑑賞) ・オリエンテーション 教科書や配布プリントを見ながら授業内容について知る。	○			○	a:美術での表現の意味を理解し、創造活動への関心、意欲を高めようとしている。 d;美術作品を鑑賞しながら、様々な表現技法があることを認識し、作品のよさや美しさを感じとることができる。
	人物クロッキー	(絵画・彫刻) ・描き方の指導 クロッキー用紙にモデルとなる人物を3ポーズ描く。 1ポーズ(8分間)	○	○	○		a:クロッキーの表現活動を通して表現することに関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。 b:鉛筆の線の強さや、濃さなど特性を生かして工夫している。 c:全体のバランス、プロポーション、構図に気をつけてしっかりと観察し人物を正確に表現している。
	まっすぐな線を引こう	(デザイン) ・画用紙にアクリル絵の具でまっすぐな線を引く練習をする。 ・引き方の説明　制作 ・まとめ	○ ○		○ ○		a:デザインの表現方法を理解し、その表現技法に関心を持ち積極的に取り組もうとしている。 c:用具の使い方を理解し、まっすぐな線を引くことができる。
	ハンカチのデザインを考えよう	(デザイン)(鑑賞) ・ハンカチのデザインを構想する。 ハンカチのデザイン例を提示する。線構成やシンメトリーの美しさを感じ取り制作する。 ・色づくり、着彩する。 絵の具の水加減や筆の使い方に気をつけて表現する。 ・ふりかえり・鑑賞 ワークシートに記入	○	○ ○	○ ○	○	a:線の構成やシンメトリーの美しさを考えながら構想を練り、表現したりしようとしている。 b:デザインが果たしている役割について理解し、用途や美しさを考慮して表現を構想している。 c:材料や用具、直線の美しさなどを生かして工夫しながら表現している。 d:他の人の作品を鑑賞して、意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、働きや作品などに理解を深めている。

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準
			a	b	c	d	
前期	自画像を描こう	(絵画・彫刻)(鑑賞) ・教科書の鑑賞 ・制作 鏡に映り込んだ自分の顔を用紙に描く 顔の角度、距離を変えながら観察する。 ・ふりかえり　相互鑑賞 ワークシートに記入	○ ○ ○	○	○	○ ○	a:表現したい主題を描くために自分の内面に働きかけている。表現活動に主体的に取り組もうとしている。 b:対象をよく観察し、漢字とったよさや美しさや情感をもとに発想している。 c:観察力つけるとともに、鉛筆の濃淡によって立体感や質感をかき分ける工夫をしている。 d:美術作品のなどのよさや美しさ、作者の意図や表現方法の工夫などを感じ取り、理解を深めようとしている。
	文字による色彩構成	(デザイン)(鑑賞) ・色の学習プリント 文字のレタリングを練習する。 ・制作 文字をデザインし、画面分割する。 配色を考え、計画する。 着彩する。 ・ふりかえり　相互鑑賞	○ ○ ○	○ ○	○	○ ○	a:文字構成のおもしろさや色構成の楽しさに興味を持ち、意欲的、計画的に制作に取りもうとしている。 b:色の面積比やバランスなどの構成を理解し、美しい画面を構想することができる。 c:材料や用具、色彩配置の美しさなどを工夫しながら、表現している。 d:作品の効果的な色の表現や、色の働きについて体験的に味わい、文化や生活に息づく色彩の魅力を味わうことができる。
	見近なものをクロッキーしてみよう	(絵画・彫刻) ・見近なもののクロッキーをする　ポイントを学ぶ。 1モチーフ6分程度で描く。 ふりかえり	○	○	○		a:クロッキーの表現活動を通して、表現することの楽しさを感じ、表現意欲を高めようとする。 b:対象をよく観察し、鉛筆の特性を生かして表現している。 c:日常的なものバランス、プロポーション、大きさに気をつけて正確に表現している。
	パターンレリーフ	(デザイン) ・パターン・ユニットのデザイン、構想 パターンレリーフについて理解し、デザインを構想する。 ・制作 下絵とケント紙を固定し、下絵ごと直接切り込みを入れていく。 折り込み、貼付け スケッチブックから好きな色画用紙を選び台紙にし、その上にケント紙を貼り付ける。	○ ○	○ ○	○		a:用途や美しさを考え、生活環境をよりよく心豊かなものにしようとする。 色彩や形体などの役割を理解し、表現しようとしている。 b:主題を基に紙素材の美しい見せ方や構成要素を感じ取り、構想を練っている。 c:紙の素材や用具の創造的な生かし方などを工夫している。色彩や形体の機能を考え、目的や意図に応じた制作の方法を工夫している。

後期	鑑賞	（鑑賞） ・教科書の中のピックアップした作品を選び、グループになる。 ・作品について調べる。 作品から受けたイメージや特徴などをディスカッションしながらまとめる。 ・グループ代表が発表する。	○ ○ ○			○ ○ ○	a：地域や生活の中にある美術文化や伝統、造形作品について美しさを感じ取り、関心を深め、生活や社会を通して美術の働きを理解している。 d：作者の心情や意図と表現の工夫、生活や自然の中にある美しさや、美術の働きを感じとり、美術作品のよさや美しさを創造的に味わう。
	版表現の楽しみ	（絵画・彫刻） ・版画表現の種類と歴史について学ぶ。 ・主題の構成・下絵を考える ・彫り、刷り ふりかえり	○ ○ ○	○ ○	○ ○		a：表現の主題を深めるために、表現の過程でも試行錯誤によってさらに練り高めようとする。 b：創造を働かせてイメージを湧出させ主題を生成する。その主題を基に、創造的な表現の構想を工夫している。 c：彫りや刷りの基本的技能を身に付け、重ね刷りやぼかしなど表現方法を工夫して表している。

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。